

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

C 定型・維持管理型 No. 1013006

I 事業の概要

I-1 事業の概要

通常評価

事務事業名 ホームページアドレス	酸性雨調査	所管局部課等	環境政策局環境企画部環境指導課
		(連絡先)	213-0928
		(評価票作成者)	環境指導課長 白居 保

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方針 現状のまま継続	24予算額 (千円)	事務事業の内容	
				環境省では、「酸性雨長期モニタリング計画」に基づき平成15年度から湿性沈着、乾性沈着、土壤・植生、陸水について、全国の定点において継続調査している。本事業は、国庫委託事業として実施されるもので、国への協力及び本市の酸性雨の現状を把握する観点から本調査（陸水調査）を受託し、実施する。	
451	800		650		
		■ 直営 □ 部分委託 □ 部分補助等 □ 全部委託 □ 全部補助等	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容 実際の調査、分析については、保健福祉局衛生環境研究所が行う。		
				■ 義務的事業 ■ 任意的事業 ■ 一般会計 □ 特別会計	
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)	酸性雨等調査マニュアル（環境省作成）			会計区分	

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分		H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
		事業費	(千円)	782	782	451	800	650
	①	賃金（事務補助）	(千円)	291	299			
		需用費（消耗品、報告書印刷等）	(千円)	418	419	421	757	607
		その他	(千円)	73	64	30	43	43
	①'	委託料	(千円)					
	②	委託料が事業費に占める割合（①' ÷ ①） (%)	(%)					
	③	人件費（24年度は見込）	(千円)	2,279	2,242	2,184	2,184	2,184
		職員（課長級） (人)	(千円)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
		職員（課長補佐級、係長級） (人)	(千円)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		職員（係員） (人)	(千円)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		嘱託職員等人件費	(千円)					
	④	年間経費（①+③）	(千円)	3,061	3,024	2,635	2,984	2,834
	⑤	特定財源（市税等の一般財源以外）	(千円)	782	782	451	800	650
		国庫・府支出金	(千円)	782	782	451	800	650
		受益者負担分（使用料、手数料等）	(千円)					
		その他（ ）	(千円)					
	⑥	京都市年間負担経費（④-⑤）	(千円)	2,279	2,242	2,184	2,184	2,184
	⑦	受益者負担率（受益者負担分÷④） (%)	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

平成23年度
(平成22年度分)

II 評価結果

事業名 酸性雨調査

II-2 業績評価 (II-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略)

A 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	調査地点数	箇所	1	1	1
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）	千円	3,061	3,024	2,635
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	3,061,413	3,024,336	2,634,854
	④	単位当たり経費変動率		-1.2%	-12.9%	
分析	(コスト変動の理由等) 平成21年度と比べ、平成22年度の経費が減少したため効率性が良くなった。 平成22年度は、事務補助の賃金が不用となったため、経費が減少した。			評価	良くなつた	かなり良くなつた
B 市民満足度	<調査の有無>		<調査方法>	<調査時期>		
	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			
C 環境保全 及び環境負荷軽減の要素	<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 関連 <input type="checkbox"/> 一般	<現状分析、今後の方針等> 酸性雨による影響は、長期継続的なモニタリング結果によらなければ把握しにくく、今後とも長期モニタリングを着実に実施していく必要がある。				

平成23年度の実施状況	沢ノ池（右京区）の水質等調査及び降水中のpHなどを分析する酸性雨の常時測定を実施した。
-------------	---

III 今後の方向性

現状のまま継続	(今後の方向性の理由及び具体的な内容)
	引き続き長期モニタリングを実施していく。